

第5回 諸外国における対日メディア世論調査 調査結果

新聞通信事業に関する調査研究、資料収集、講演会の開催などを行っている公益財団法人新聞通信調査会（理事長 西沢豊）は、2018年11～12月に「諸外国における対日メディア世論調査」を実施した。

調査は、アメリカ・イギリス・フランス・中国・韓国・タイの6カ国において、各国約1,000人の回答を得た。アメリカ・フランス・韓国は電話調査、イギリス・中国・タイは面接調査で行った。「対日メディア世論調査」は2015年1月、2016年1月、2017年2月、2018年1月にもこの6カ国で行っており、今回調査は5回目となる。主な調査結果は以下の通りである。

主な調査結果

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を「知っている」のは、中国で87.3%と最多、次いで韓国72.7%、フランス60.2%。イギリス・アメリカ・タイは50%前後。

・2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を「知っている」と答えた人が中国で87.3%と最も多く、次いで韓国が72.7%、フランスが60.2%。イギリスは50%を超えたが、アメリカとタイでは50%を下回った。（資料1ページ 図表1）

・東京オリンピック・パラリンピックの報道を自国のマスメディアで見聞きしたことがあるか尋ねたところ、「ある」と答えた人が中国で72.8%と最も多く、次いで韓国が56.1%、タイが50.0%となった。フランス・アメリカ・イギリスは30%前後であった。（資料1ページ 図表2）

現天皇の退位と新天皇の即位を「知っている」のは、中国で37.9%と最多、次いで韓国30.3%、タイ21.2%。

・天皇の退位と新天皇の即位を「知っている」と答えた人が中国で37.9%と最も多く、次いで韓国が30.3%、タイが21.2%となった。フランス・アメリカ・イギリスは認知度が低かった。（資料2ページ 図表3）

・日本の皇族について報道してほしいか尋ねたところ、「報道してほしい」（「積極的に報道してほしい」と「報道してほしい」の合計）がタイで73.4%と最も多く、次いで中国が54.5%、アメリカが45.0%となった。韓国・イギリス・フランスは日本の皇族への関心が低かった。（資料2ページ 図表4）

2019年2月
公益財団法人 新聞通信調査会

日本のメディアの認知度は韓国が突出

- ・日本のメディアの認知度は韓国が突出して高く、中国がそれに次いだ。欧米3カ国では「知らない」人が70%以上、アメリカでは86%。知っているメディアでは、「NHK(ワールドTV、ラジオジャパンなど)」がすべての国で1位。(資料3ページ 図表5)
- ・日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、タイで91.3%。韓国・フランスで60%台、アメリカ・中国で50%台。イギリスでは50%を下回った。(資料3ページ 図表6)

日本についての知識や情報の入手先は「自国のテレビ、新聞、雑誌」と「インターネット」、メディアに期待する報道内容は「科学技術」

- ・日本についての知識や情報の入手先は、中国以外の5カ国で「自国のテレビ、新聞、雑誌」が1位、「インターネット」が2位。中国では「インターネット」が1位、「自国のテレビ、新聞、雑誌」が2位。(資料4ページ 図表7)
- ・日本に関する報道で、メディアに期待する内容を挙げてもらった。1位は、タイを除く5カ国では「科学技術」、タイでは「観光情報」。2位には、アメリカ・イギリスは「国際協力、平和維持活動」、フランスは「歴史と文化」、中国は「観光情報」、韓国は「政治、経済、外交政策」、タイは「科学技術」が続いた。(資料4ページ 図表8)

新聞の情報信頼度は、前回よりアジア3カ国は上昇、欧米3カ国は低下

- ・新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は100点、全く信頼をしていない場合は0点、普通の場合は50点として点数をつけてもらったところ、タイが68.8点で前回より2.4点の上昇、中国が66.9点で1.9点の上昇、韓国が58.2点で2.2点の上昇、フランスが54.8点で3.1点の低下、アメリカが52.5点で5.7点の低下、イギリスが51.9点で3.7点の低下であった。昨年8月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は69.6点(2017年度68.7点、2016年度68.6点、2015年度69.4点、2014年度69.2点)であった。(資料5ページ 図表9)

ニュース視聴の利用媒体はアメリカ・イギリス・フランス・韓国・タイはテレビが1位、中国はインターネットが1位

・ニュース視聴の利用媒体は、アメリカ・イギリス・フランス・韓国・タイはテレビが1位、中国はインターネットのニュースサイトが1位。2位にはアメリカ・韓国はインターネットのニュースサイト、イギリス・フランスは新聞、中国はテレビ、タイはSNS (facebook、twitter など)。(資料6ページ 図表10)

・新聞を紙、電子版のどちらで読むかについては、イギリスは「紙のみ」、中国は「電子版のみ」が50%を超えた。(資料6ページ 図表11)

・ネットニュースやSNSを見るのに使用する機器は、昨年までフランスのみ「パソコン」が1位であったが、今回は6カ国とも「スマートフォン・携帯電話」が1位。(資料6ページ 図表12)

ネットニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするのは、タイが94.7%で最多、アメリカ・フランス・中国が80%台、イギリス・韓国が60%台

・インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか尋ねたところ、6カ国すべてで「気にする」(「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計)が60%以上となり、「気にしない」(「全く気にしない」と「あまり気にしない」の合計)を大きく上回った。「気にする」と答えた人は、タイが94.7%で最も多く、アメリカ・フランス・中国が80%台、イギリス・韓国が60%台であった。そのうち、「いつも気にする」のはフランスが59.7%で最も多く、次いでアメリカ51.9%であった。イギリス・韓国を除く4カ国では「気にする」の割合は前回調査より増加した。昨年8月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「気にする」と答えた人が39.9%、そのうち「いつも気にする」のは10.2%であった。(資料7ページ 図表13)

政治家が発信するSNSの情報の方を信頼するのは中国、他の5カ国はメディアの報道する情報の方を信頼するも国によってばらつき

・政治家が個人的に発信するSNSの情報とテレビや新聞などが報道する情報のどちらを信頼するか尋ねたところ、中国では「政治家が個人的に発信するSNSの情報の方を信頼する」が46.9%で、「テレビや新聞などが報道する情報の方を信頼する」の38.3%を上回った。一方、他の5カ国では、「テレビや新聞などが報道する情報の方を信頼する」と答えた人の割合が「政治家が個人的に発信するSNSの情報の方を信頼する」を上回った。「テレビや新聞などが報道する情報の方を信頼する」の割合はアメリカが71.6%で最も多く、イギリス・フランス・韓国・タイは50%台。(資料8ページ 図表14)

「報道の自由は常に保障されるべきだ」に各国 80%以上の支持があるも、「報道でプライバシーが侵害されている」にも 50%以上が賛同

- ・「報道の自由は常に保障されるべきだ」については、「そう思う」がフランスで 90%を超え、他の 5 カ国で 80%台。(資料 9 ページ 図表 15 (1))
- ・「国益を損なうという理由で政府がメディアに圧力をかけるのは当然だと思うか」については、「そう思う」がタイで 82.2%、イギリスで 71.8%、中国で 65.0%、韓国・アメリカで 60%近く。フランスで 50%を下回った。(資料 9 ページ 図表 15 (2))
- ・「報道の自由が侵害されていることがあると思うか」については、「そう思う」がイギリス・タイで 70%台、アメリカ・韓国で 50%を超えた。フランス・中国で 50%を下回った。(資料 10 ページ 図表 15 (3))
- ・「報道によって、プライバシーが侵害されていると思うか」については、「そう思う」がイギリス・フランス・タイで 70%を超えた。アメリカは 60%台、中国・韓国は 50%台。(資料 10 ページ 図表 15 (4))

「世論調査は、人々の意見を正しく反映している」と思うのは、中国・タイで 70%前後、アメリカ・イギリス・フランス・韓国は 50%を下回る

- ・テレビ・新聞などのマスメディアで報道される世論調査の結果は、人々の意見を正しく反映していると思うか、尋ねたところ、「そう思う」が中国・タイで 70%前後であったが、アメリカ・イギリス・フランス・韓国で 50%を下回った。フランスでは世論調査が人々の意見を正しく反映していると思わない人が約 70%。(資料 11 ページ 図表 16)

日本に対する信頼度は中国で上昇続く

- ・日本について「信頼できる」はタイで 96.5%、フランスで 81.4%、アメリカで 78.1%。イギリスは 62.8%。昨年度からの変化では、イギリスが 5.0 ポイント、アメリカが 2.9 ポイント減少した。(資料 12 ページ 図表 17)
- ・中国は 32.4%、韓国は 18.1%と低いですが、時系列変化を見ると、中国は第 4 回、今回と信頼度が上昇し、信頼度は第 3 回から倍増した。韓国は横ばいであった。(資料 12 ページ 図表 17)

訪日経験があるのは韓国で 55%、アメリカ・中国は 10%強

- ・訪日経験があるのは韓国で 55.4%。アメリカ・中国は 10%強。イギリス・フランス・タイは 5%前後。時系列変化を見ると、韓国・タイは上昇傾向が続いた。前回より中国は 2.8 ポイントの上昇となった。(資料 13 ページ 図表 18)
- ・訪日意向は、タイが最も高く 91.0%、次いで中国が 78.0%であった。他の 4 カ国は 50~60%台。(資料 13 ページ 図表 19)

主な調査結果 (つづき)

中国への好感度は5カ国で軒並み低下 日本への好感度は中国で上昇、韓国で低下 イギリス・フランスは他国への好感度がほとんど低下

- ・中国に対する好感度は、前回調査より軒並み低下し、中でもイギリスが10.2ポイント、フランスが9.8ポイント、韓国が7.9ポイントと大きく低下した。(資料14ページ 図表21)
- ・イギリス・フランスでの、他国への好感度は、ほとんど低下となった。イギリス・フランスは依然相互に好感度が高い。(資料14ページ 図表21)
- ・日本に対する好感度はタイ96.5%、アメリカ85.7%、フランス79.1%、イギリス62.0%。アメリカは2.1ポイントの上昇となったが、イギリス・フランス・タイは低下。中国・韓国は前回調査で好感度が上昇に転じたが、今回は中国は引き続き6.0ポイント上昇の33.9%、韓国は6.3ポイント低下の32.0%。(資料14ページ 図表21)
- ・アメリカは依然日本、イギリス、フランスへの好感度が高いが、韓国への好感度が6.6ポイント上昇し51.5%。中国はフランス・イギリス・タイ・アメリカの順に、韓国はイギリス・アメリカ・フランス・タイの順に、タイは日本・イギリス・アメリカ・フランス・韓国・中国の順に50%以上の好感度。(資料14ページ 図表21)

知っている日本人、中国・韓国は「安倍晋三」、 イギリス・フランスは「昭和天皇」、タイは「天皇」 アメリカは「オノ・ヨーコ」が1位

- ・知っている日本人の名前を1人挙げてもらったところ、中国・韓国は「安倍晋三」が1位。イギリス・フランスは「昭和天皇」が1位。タイは「天皇」が1位。アメリカは「オノ・ヨーコ」が1位。(資料15ページ 図表22)
- ・2位には「安倍晋三」(アメリカ・タイ)、「オノ・ヨーコ」(イギリス)、「ドラゴンボール/孫悟空」(フランス)、「福原愛」(中国)、「伊藤博文」(韓国)と分散。(資料15ページ 図表22)

調査の概要

●調査国と調査日程、調査方法、調査会社、調査地域

調査国	調査日程	調査方法	調査会社	調査地域
アメリカ	11月13日～17日	電話調査	SSRS	全国
イギリス	11月21日～25日	面接調査	TNS	全国
フランス	11月30日～12月10日	電話調査	CSA	全国
中国	12月1日～5日	面接調査	CRCリサーチセンター	北京、上海、広州、瀋陽、西安、成都、武漢、合肥、南京、青島
韓国	11月23日～12月3日	電話調査	Gallup Korea	全国
タイ	11月16日～12月7日	面接調査	IPSOS Thailand	バンコク、チェンマイ、ウドーンターニー、ソンクララー

※電話調査では、複数回答の質問において、回答に偏りが出ないように、選択肢の読み上げ順をランダムにした。

●回収サンプルの構成

アメリカ	男性	548	56.0%	中国	男性	505	50.5%
	女性	431	44.0%		女性	495	49.5%
	10代(18-19歳)	31	3.2%		10代(18-19歳)	30	3.0%
	20歳代	131	13.4%		20歳代	254	25.4%
	30歳代	117	12.0%		30歳代	252	25.2%
	40歳代	113	11.5%		40歳代	263	26.3%
	50歳代	192	19.6%		50歳代	134	13.4%
	60歳代	166	17.0%		60歳代	66	6.6%
	70歳以上(70-98歳)	229	23.4%		70歳以上(70歳)	1	0.1%
合計	979	100.0%	合計	1,000	100.0%		
イギリス	男性	479	48.9%	韓国	男性	502	50.2%
	女性	501	51.1%		女性	498	49.8%
	10代(16-19歳)	41	4.2%		10代(19歳)	21	2.1%
	20歳代	154	15.7%		20歳代	144	14.4%
	30歳代	167	17.0%		30歳代	152	15.2%
	40歳代	122	12.4%		40歳代	201	20.1%
	50歳代	127	13.0%		50歳代	226	22.6%
	60歳代	139	14.2%		60歳代	157	15.7%
	70歳以上(70-95歳)	230	23.5%		70歳以上(70-80歳)	99	9.9%
合計	980	100.0%	合計	1,000	100.0%		
フランス	男性	479	47.7%	タイ	男性	500	50.0%
	女性	525	52.3%		女性	500	50.0%
	10代(18-19歳)	29	2.9%		10代(18-19歳)	44	4.4%
	20歳代	141	14.0%		20歳代	236	23.6%
	30歳代	206	20.5%		30歳代	230	23.0%
	40歳代	151	15.0%		40歳代	260	26.0%
	50歳代	172	17.1%		50歳代	202	20.2%
	60歳代	138	13.7%		60歳代	25	2.5%
	70歳以上(70-98歳)	167	16.6%		70歳以上(70-73歳)	3	0.3%
合計	1,004	100.0%	合計	1,000	100.0%		

●質問一覧

質問	選択肢
問 1. 日本人で知っている人の名前を1人挙げてください。現在、存命中か否かは問いません。	
問 2. あなたは、次の国々についてどう思っていますか。(回答はそれぞれ1つずつ) (1)アメリカ (2)イギリス (3)フランス (4)日本 (5)中国 (6)韓国 (7)タイ	1 とても好感が持てる 2 やや好感が持てる 3 あまり好感が持てない 4 全く好感が持てない
問 3. あなたは、日本を信頼できる国だと思いますか。(回答は1つ)	1 とても信頼できる 2 やや信頼できる 3 あまり信頼できない 4 全く信頼できない
問 4. 日本についての知識や情報はどこから得ていますか。(回答はいくつでも)	1 自国のテレビ、新聞、雑誌 2 自分の家族や親戚、知人 3 インターネット 4 日本人の友人、知人 5 訪日経験 6 学校教育 7 得ていない
問 5. あなたは日本に行ったことがありますか。(回答は1つ)	1 行ったことがある 2 行ったことはない
問 6. あなたは日本に行きたいと思いますか。(回答は1つ)	1 行きたい 2 行きたくない
問 7. あなたはもし日本に行くとしたら、どんなことをしてみたいですか。行ってみたい場所、体験したいこと…何でもいいですから簡単に一言でお答えください。	
問 8. あなたは、日本のメディアをご存知ですか。(回答はいくつでも)	1 NHK (ワールドTV、ラジオジャパンなど) 2 共同通信社 3 時事通信社 4 日本の新聞 (朝日、毎日、読売、日経、産経など) 5 知っているものはない
問 9. あなたは、日本のことが報道されると関心を持って見聞きますか。(回答は1つ)	1 とても関心がある 2 やや関心がある 3 あまり関心がない 4 全く関心がない
問 10. あなたは、次のことがらを自国のメディアが積極的に報道してほしいと思いますか。(回答はそれぞれ1つずつ) (1) 日本の政治、経済、外交政策 (2) 日本の国際協力や平和維持活動 (3) 日本の科学技術 (4) 日本の歴史と文化 (5) 日本の生活様式や食文化 (6) 日本のファッション、アニメ、音楽 (7) 日本の観光情報 (8) 日本の皇族	1 積極的に報道してほしい 2 報道してほしい 3 あまり報道しなくてもよい 4 報道しなくてもよい
問 11. あなたは、ふだんニュースをどの媒体で視聴していますか。あてはまるものをすべてお答えください。(回答はいくつでも)	1 新聞 (紙面) 2 新聞 (電子版、オンライン) 3 テレビ 4 ラジオ 5 インターネットのニュースサイト 6 SNS (facebook、twitter など) 7 雑誌
問 12. あなたは、インターネットのニュースやSNS (facebook、twitter など)を見る時に、何を使いますか (回答はいくつでも)	1 パソコン 2 スマートフォン・携帯電話 3 タブレット (例: iPad) 4 その他

質問	選択肢
問 13. あなたは、インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所(報道機関名などの配信元)を気にしますか。(回答は1つ)	1 いつも気にする 2 まあ気にする 3 あまり気にしない 4 全く気にしない
問 14. 現在のあなたの日常生活において、新聞の情報をどの程度信頼しているか、点数でお答えください。全面的に信頼している場合は100点、全く信頼していない場合は0点とし、普通の場合を50点としてお答えください。「新聞を読まない」あるいは「分からない」場合でも、大体の感じでお答えください。	
問 15. あなたは、報道の自由についてどう思いますか。(回答はそれぞれ1つずつ) (1) 報道の自由は常に保障されるべきだ (2) 国益を損なうという理由で政府がメディアに圧力をかけるのは当然だと思う (3) 報道の自由が侵害されていることがあると思う (4) 報道によって、プライバシーが侵害されていると思う	1 そう思う 2 どちらかと言えばそう思う 3 どちらかと言えばそうは思わない 4 そうは思わない
問 16. テレビ・新聞などのマスメディアで報道される政治に関する世論調査の結果は、人びとの意見を正しく反映していると思いますか。(回答は1つ)	1 そう思う 2 ややそう思う 3 どちらとも言えない 4 あまりそう思わない 5 そう思わない
問 17. あなたは、政治家が個人的に発信する SNS の情報とテレビや新聞などが報道する情報のどちらを信頼しますか。(回答は1つ)	1 政治家が個人的に発信する SNS の情報の方を信頼する 2 テレビや新聞などが報道する情報の方を信頼する 3 どちらとも言えない
問 18. あなたは、日本の現天皇が2019年4月に退位し、新天皇が2019年5月に即位することを知っていますか。(回答は1つ)	1 知っている 2 知らない
問 19. あなたは、2020年に日本の東京でオリンピック・パラリンピックが開催されることを知っていますか。(回答は1つ)	1 知っている 2 知らない
問 20. 日本の東京で開催されるオリンピック・パラリンピックに関する報道を、自国のテレビ・新聞などのマスメディアで見聞きしたことはありますか。(回答は1つ)	1 ある 2 ない

第5回 諸外国における対日メディア世論調査

2019年2月発行

発行 公益財団法人 新聞通信調査会

東京都千代田区内幸町2-2-1

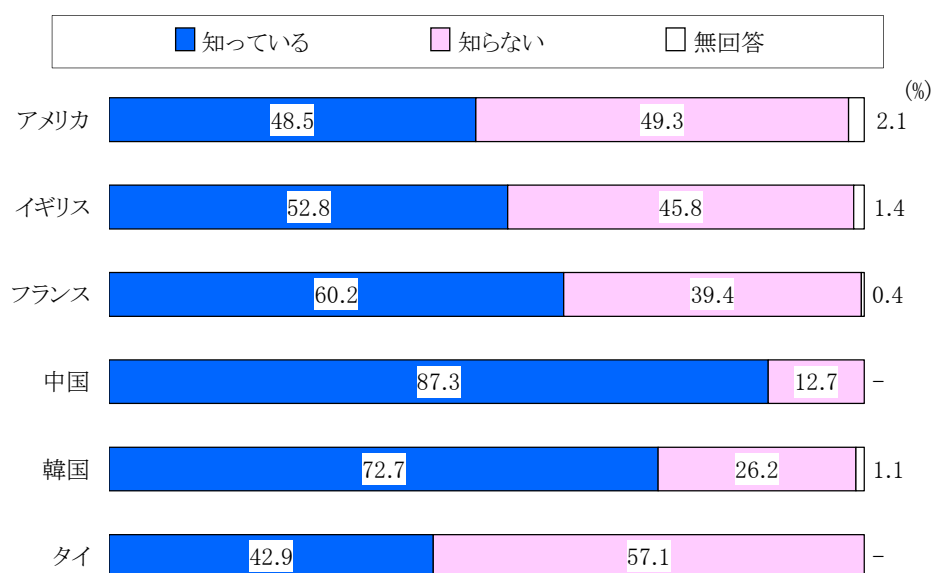
日本プレスセンタービル1階

電話 03-3593-1081

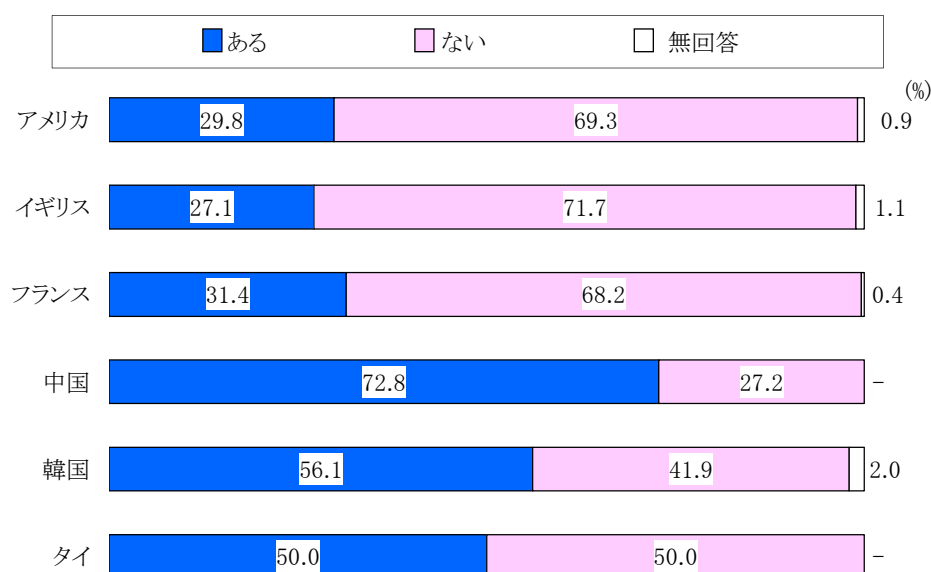
2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を「知っている」のは、中国で87.3%と最多、次いで韓国72.7%、フランス60.2%。イギリス・アメリカ・タイは50%前後。

- ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を「知っている」と答えた人が中国で87.3%と最も多く、次いで韓国が72.7%、フランスが60.2%。イギリスは50%を超えたが、アメリカとタイでは50%を下回った。
- ・ 東京オリンピック・パラリンピックの報道を自国のマスメディアで見聞きしたことがあるか尋ねたところ、「ある」と答えた人が中国で72.8%と最も多く、次いで韓国が56.1%、タイが50.0%となった。フランス・アメリカ・イギリスは30%前後であった。

図表1 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を知っているか（問19）



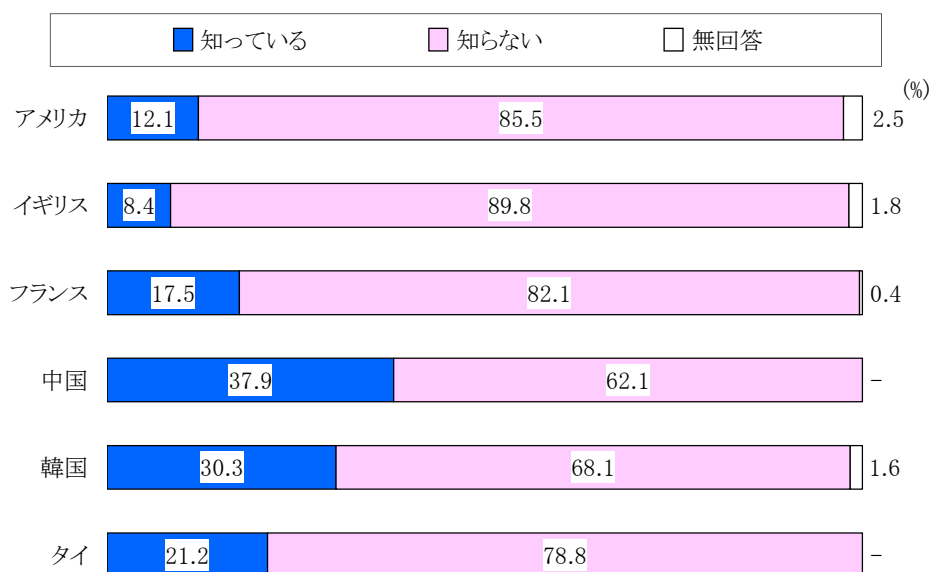
図表2 東京オリンピック・パラリンピックの報道を自国のマスメディアで見聞きしたことがあるか（問20）



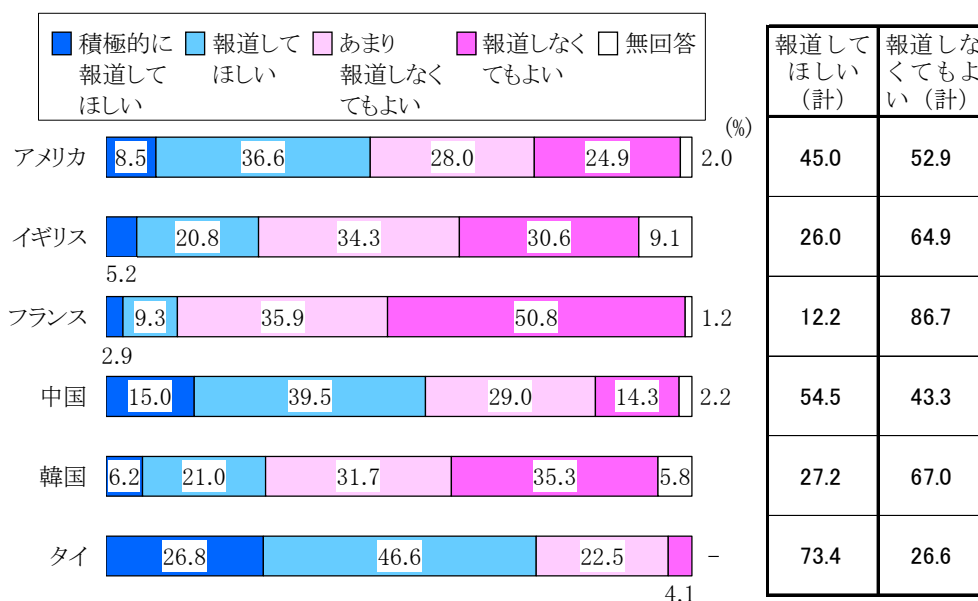
現天皇の退位と新天皇の即位を「知っている」のは、中国で37.9%と最多、次いで韓国30.3%、タイ21.2%。

- ・現天皇の退位と新天皇の即位を「知っている」と答えた人が中国で37.9%と最も多く、次いで韓国が30.3%、タイが21.2%となった。フランス・アメリカ・イギリスは認知度が低かった。
- ・日本の皇族について報道してほしいか尋ねたところ、「報道してほしい」（「積極的に報道してほしい」と「報道してほしい」の合計）がタイで73.4%と最も多く、次いで中国が54.5%、アメリカが45.0%となった。韓国・イギリス・フランスは日本の皇族への関心が低かった。

図表3 現天皇の退位と新天皇の即位を知っているか（問18）



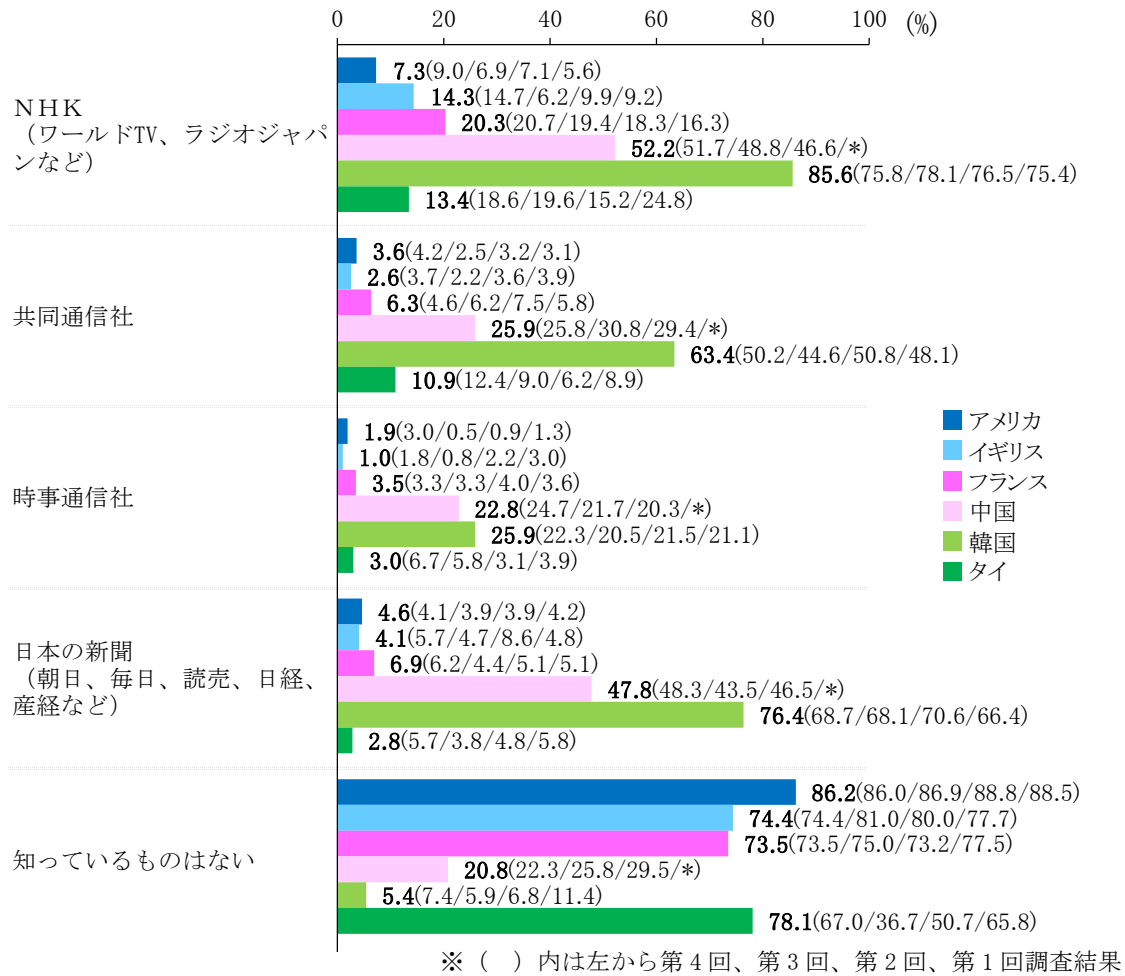
図表4 日本の皇族について報道してほしいか（問10(8)）



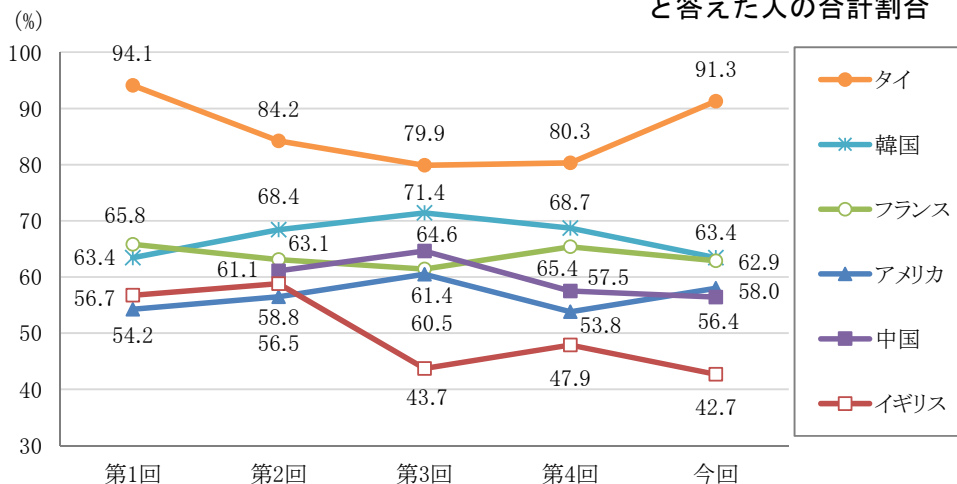
日本のメディアの認知度は韓国が突出

- 日本のメディアの認知度は韓国が突出して高く、中国がそれに次いだ。欧米3カ国では「知らない」人が70%以上、アメリカでは86%。知っているメディアでは、「NHK(ワールドTV、ラジオジャパンなど)」がすべての国で1位(複数回答)。
- 日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、タイで91.3%。韓国・フランスで60%台、アメリカ・中国で50%台。イギリスでは50%を下回った。

図表5 日本のメディアの認知度(複数回答)(問8)



図表6 日本のことが報道されると関心を持つか(問9) — 「とても関心がある」「やや関心がある」と答えた人の合計割合



日本についての知識や情報の入手先は「自国のテレビ、新聞、雑誌」と「インターネット」、メディアに期待する報道内容は「科学技術」

- 日本についての知識や情報の入手先は、中国以外の5カ国で「自国のテレビ、新聞、雑誌」が1位、「インターネット」が2位（複数回答）。
- 中国では「インターネット」が1位、「自国のテレビ、新聞、雑誌」が2位。
- 日本に関する報道で、メディアに期待する内容を挙げてもらった。1位は、タイを除く5カ国では「科学技術」、タイでは「観光情報」。2位には、アメリカ・イギリスは「国際協力、平和維持活動」、フランスは「歴史と文化」、中国は「観光情報」、韓国は「政治、経済、外交政策」、タイは「科学技術」が続いた。

図表7 日本に関する情報の入手先(複数回答) (問4)

(%)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
アメリカ	自国のテレビ、新聞、雑誌 40.9 (52.9/39.1/41.9)	インターネット 30.7 (35.2/21.5/20.7)	自分の家族や親戚、知人 23.6 (27.1/15.0/19.2)	学校教育 18.5 (23.8/12.0/15.4)	日本人の友人、知人 16.4 (21.2/12.9/15.1)	訪日経験 7.5 (9.7/7.2/9.0)
イギリス	自国のテレビ、新聞、雑誌 53.0 (59.7/54.3/78.7)	インターネット 26.7 (28.3/27.3/44.3)	自分の家族や親戚、知人 9.0 (10.9/10.6/28.7)	学校教育 6.8 (8.0/8.1/28.6)	日本人の友人、知人 4.5 (4.9/5.2/15.2)	訪日経験 2.9 (2.1/2.4/5.7)
フランス	自国のテレビ、新聞、雑誌 84.2 (78.8/83.4/87.7)	インターネット 51.8 (47.1/48.6/50.1)	自分の家族や親戚、知人 42.2 (36.2/35.5/38.9)	学校教育 39.8 (37.6/37.8/41.7)	日本人の友人、知人 17.2 (17.3/16.0/18.9)	訪日経験 5.2 (5.1/4.4/4.0)
中国	インターネット 83.4 (83.6/83.3/75.3)	自国のテレビ、新聞、雑誌 65.1 (74.3/77.6/77.5)	自分の家族や親戚、知人 34.0 (27.4/23.7/29.4)	学校教育 26.9 (18.9/23.9/27.4)	日本人の友人、知人 14.7 (10.7/13.3/14.9)	訪日経験 12.6 (9.1/10.9/11.6)
韓国	自国のテレビ、新聞、雑誌 72.1 (72.5/73.0/74.6)	インターネット 48.4 (49.0/51.4/44.2)	学校教育 18.0 (14.8/14.8/11.3)	自分の家族や親戚、知人 15.8 (16.7/16.4/12.9)	訪日経験 13.9 (12.3/13.6/11.4)	日本人の友人、知人 8.0 (7.3/9.0/9.4)
タイ	自国のテレビ、新聞、雑誌 84.3 (89.5/90.8/95.1)	インターネット 62.6 (58.1/54.7/43.6)	自分の家族や親戚、知人 23.3 (30.7/37.5/42.2)	学校教育 8.2 (5.9/4.9/1.9)	訪日経験 4.7 (2.2/2.6/1.5)	日本人の友人、知人 4.2 (3.4/6.1/6.8)

※()内は、左から第4回調査、第3回調査、第2回調査の結果

図表8 メディアに期待する報道内容(問10)

(%)

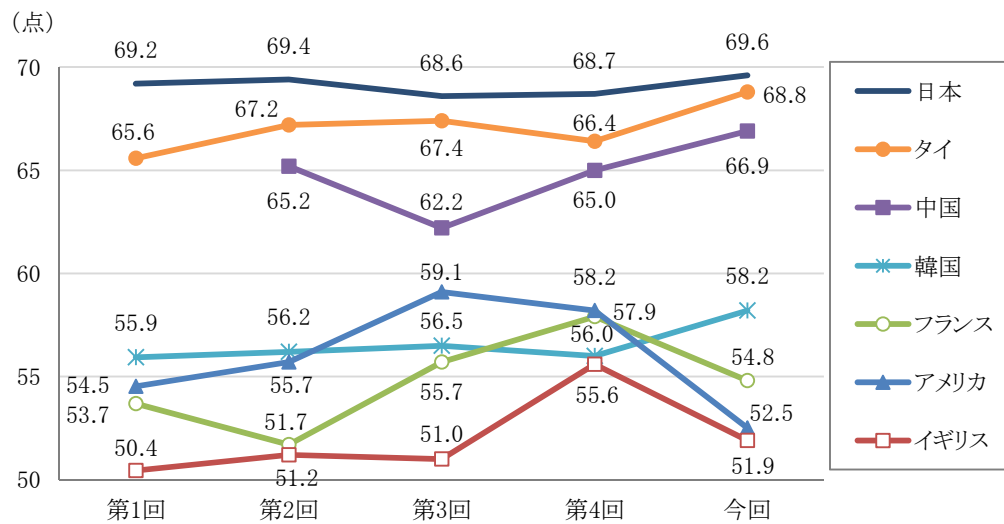
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
アメリカ	科学技術 80.1(78.9/84.0)	国際協力や平和維持活動 72.5(72.8/79.1)	政治、経済、外交政策 70.2(69.9/74.2)	生活様式や食文化 66.5(62.2/59.8)	歴史と文化 65.8(64.4/63.8)	観光情報 64.1(59.2/58.6)	ファッション、アニメ、音楽 47.7(46.2/42.9)
イギリス	科学技術 55.9(58.3/55.6)	国際協力や平和維持活動 51.3(54.5/49.0)	歴史と文化 48.9(47.3/42.9)	生活様式や食文化 46.9(45.1/39.1)	観光情報 45.1(43.1/35.6)	政治、経済、外交政策 40.2(45.9/42.1)	ファッション、アニメ、音楽 30.5(32.1/25.1)
フランス	科学技術 53.2(54.0/56.2)	歴史と文化 48.6(44.9/45.6)	生活様式や食文化 47.1(47.1/44.0)	国際協力や平和維持活動 42.7(45.2/46.4)	政治、経済、外交政策 39.4(43.1/41.2)	観光情報 37.5(36.9/37.1)	ファッション、アニメ、音楽 24.2(26.1/26.3)
中国	科学技術 71.7(69.8/74.1)	観光情報 69.4(65.7/65.1)	ファッション、アニメ、音楽 66.9(64.1/66.5)	生活様式や食文化 58.2(59.6/61.9)	歴史と文化 52.0(46.3/48.8)	政治、経済、外交政策 49.7(42.6/51.0)	国際協力や平和維持活動 34.5(25.2/25.8)
韓国	科学技術 83.8(85.6/88.7)	政治、経済、外交政策 76.7(81.4/84.4)	国際協力や平和維持活動 72.5(78.8/77.9)	歴史と文化 61.8(67.2/67.2)	生活様式や食文化 58.0(61.7/59.0)	観光情報 55.8(60.7/57.6)	ファッション、アニメ、音楽 37.2(42.1/41.5)
タイ	観光情報 94.3(90.7/84.2)	科学技術 87.7(86.4/82.3)	生活様式や食文化 86.8(83.9/79.9)	歴史と文化 83.6(80.1/76.2)	国際協力や平和維持活動 79.1(80.8/75.1)	政治、経済、外交政策 75.3(79.1/78.3)	ファッション、アニメ、音楽 65.9(61.8/67.8)

※()内は、左から第4回調査、第3回調査の結果

新聞の情報信頼度は、前回よりアジア 3 カ国は上昇、 欧米 3 カ国は低下

- 新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は 100 点、全く信頼していない場合は 0 点、普通の場合は 50 点として点数をつけてもらったところ、タイが 68.8 点で前回より 2.4 点の上昇、中国が 66.9 点で 1.9 点の上昇、韓国が 58.2 点で 2.2 点の上昇、フランスが 54.8 点で 3.1 点の低下、アメリカが 52.5 点で 5.7 点の低下、イギリスが 51.9 点で 3.7 点の低下であった。昨年 8 月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は 69.6 点（2017 年度 68.7 点、2016 年度 68.6 点、2015 年度 69.4 点、2014 年度 69.2 点）であった。

図表 9 新聞の情報信頼度（問 14）



注 1：アメリカは 0 点～10 点で質問したので、回答の数値を 10 倍した。

注 2：図表中の日本については第 11 回メディアに関する全国世論調査（2018 年）より参考として表記。
「第 11 回メディアに関する全国世論調査（2018 年）」は 2018 年 8 月に全国 18 歳以上の 5,000 人を対象に訪問留置法で行い 3,135 人（有効回収率 62.7%）から回答を得た。

注 3：今回から平均得点の算出方法を国内調査に合わせ、変更した。

ニュース視聴の利用媒体はアメリカ・イギリス・フランス・韓国・タイはテレビが1位、中国はインターネットが1位

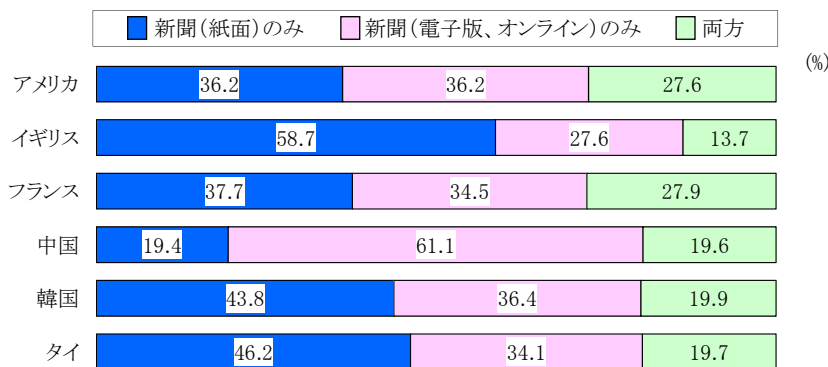
- ・ ニュース視聴の利用媒体は、アメリカ・イギリス・フランス・韓国・タイはテレビが1位、中国はインターネットのニュースサイトが1位（複数回答）。
- ・ 2位にはアメリカ・韓国はインターネットのニュースサイト、イギリス・フランスは新聞、中国はテレビ、タイはSNS (facebook、twitter など)。
- ・ 新聞を紙、電子版のどちらで読むかについては、イギリスは「紙のみ」、中国は「電子版のみ」が50%を超えた。
- ・ ネットニュースやSNS を見るのに使用する機器は、昨年までフランスのみ「パソコン」が1位であったが、今回は6カ国とも「スマートフォン・携帯電話」が1位（複数回答）。

図表 10 ニュース視聴の利用媒体(複数回答) (問 11) (%)

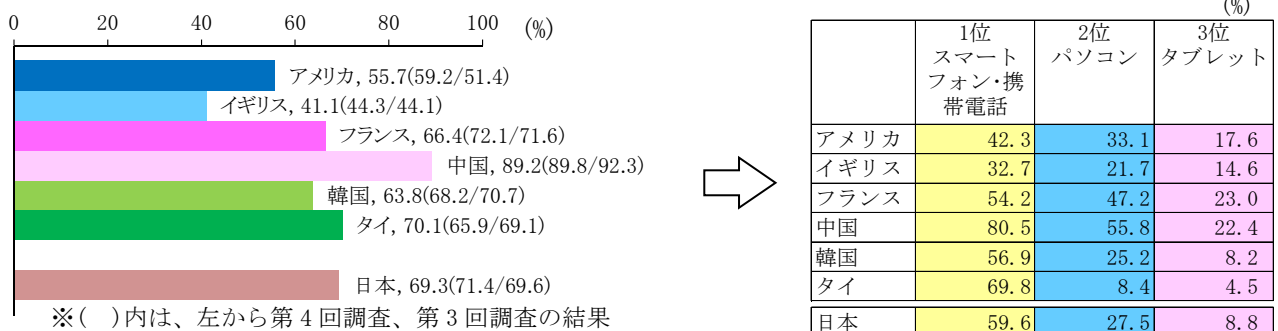
	1位	2位	3位	4位	5位	6位
アメリカ	テレビ 64.2(72.9/59.1)	インターネットのニュースサイト 43.3(50.0/41.3)	新聞 41.8(31.8/25.8)	SNS (facebook、twitterなど) 30.2(30.8/20.9)	ラジオ 26.9(35.5/22.0)	雑誌 14.5(18.9/11.1)
イギリス	テレビ 69.5(70.3/70.9)	新聞 37.3(33.7/32.3)	インターネットのニュースサイト 32.0(37.3/37.6)	ラジオ 23.8(25.1/26.9)	SNS (facebook、twitterなど) 20.8(18.2/18.2)	雑誌 2.4(3.4/4.3)
フランス	テレビ 84.4(83.3/86.2)	新聞 72.2(51.2/60.3)	ラジオ 70.3(64.3/67.0)	インターネットのニュースサイト 49.4(65.4/67.1)	雑誌 47.6(41.9/43.8)	SNS (facebook、twitterなど) 47.4(42.0/36.7)
中国	インターネットのニュースサイト 82.3(80.5/85.4)	テレビ 71.3(71.9/73.2)	SNS (facebook、twitterなど) 67.5(66.2/66.6)	新聞 47.0(30.0/38.3)	ラジオ 12.4(17.9/16.8)	雑誌 11.2(13.4/17.1)
韓国	テレビ 72.8(77.5/77.8)	インターネットのニュースサイト 59.8(63.3/66.8)	新聞 29.7(27.3/34.8)	SNS (facebook、twitterなど) 16.8(20.0/23.2)	ラジオ 12.9(10.4/14.7)	雑誌 6.0(6.2/7.5)
タイ	テレビ 91.0(90.8/92.0)	SNS (facebook、twitterなど) 67.4(63.1/63.0)	インターネットのニュースサイト 22.0(33.1/42.9)	新聞 13.2(26.6/45.1)	雑誌 5.2(2.1/1.6)	ラジオ 3.6(5.1/9.7)

※()内は、左から第4回調査、第3回調査の結果

図表 11 新聞を紙、電子版のどちらで読むか (問 11)



図表 12 ネットニュースや SNS を見る割合と使用機器(複数回答) (問 11、問 12)



※()内は、左から第4回調査、第3回調査の結果

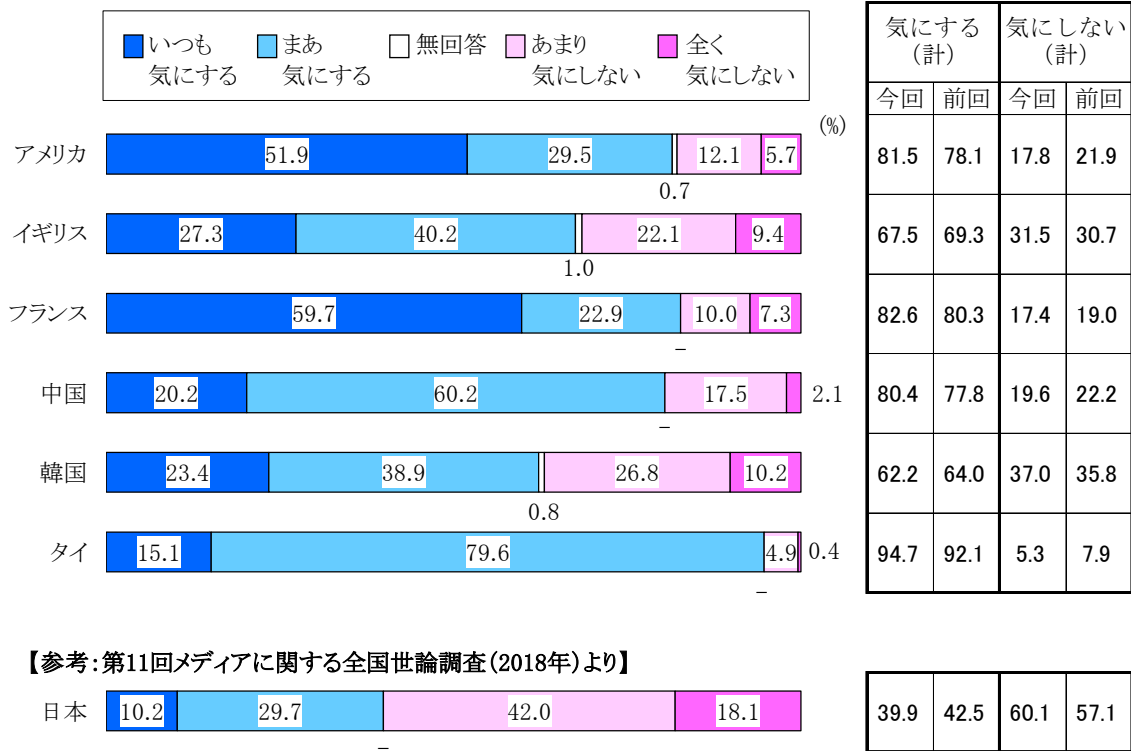
※図表中の日本については第11回メディアに関する全国世論調査(2018年)より参考として表記。

「第11回メディアに関する全国世論調査(2018年)」は2018年8月に全国18歳以上の5,000人を対象に訪問留置法で行い3,135人(有効回収率62.7%)から回答を得た。

ネットニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするのは、タイが94.7%で最多、アメリカ・フランス・中国が80%台、イギリス・韓国が60%台

・インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか尋ねたところ、6カ国すべてで「気にする」（「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計）が60%以上となり、「気にしない」（「全く気にしない」と「あまり気にしない」の合計）を大きく上回った。「気にする」と答えた人は、タイが94.7%で最も多く、アメリカ・フランス・中国が80%台、イギリス・韓国が60%台であった。そのうち、「いつも気にする」のはフランスが59.7%で最も多く、次いでアメリカ51.9%であった。イギリス・韓国を除く4カ国では「気にする」の割合は前回調査より増加した。昨年8月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「気にする」と答えた人が39.9%、そのうち「いつも気にする」のは10.2%であった。

図表 13 ネットニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか（問 13）

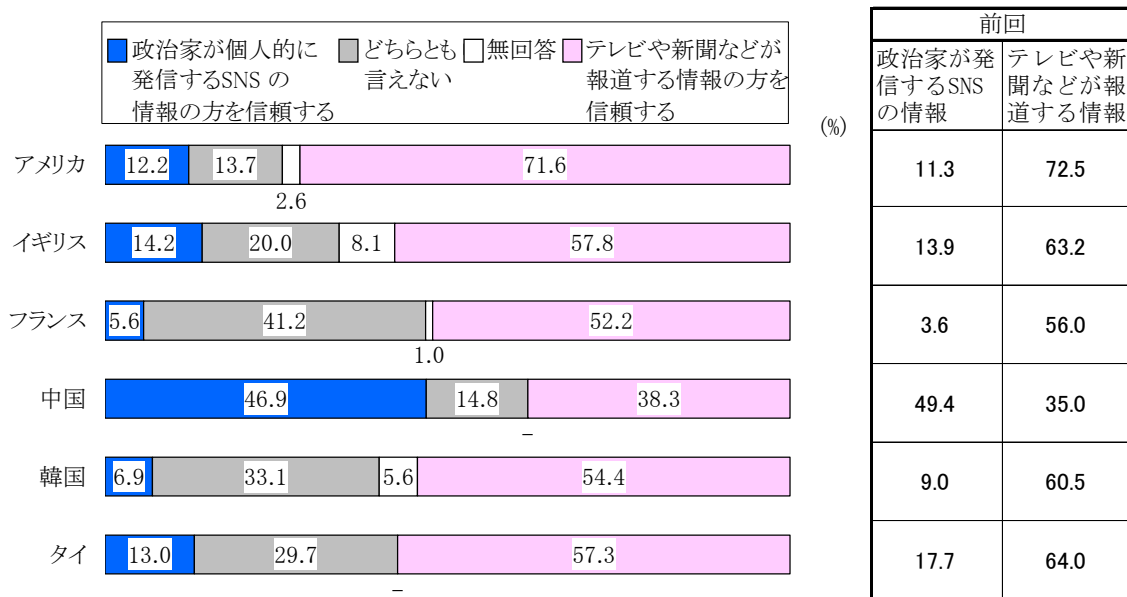


注：「第11回メディアに関する全国世論調査（2018年）」は2018年8月に全国18歳以上の5,000人を対象に訪問留置法で行い3,135人（有効回収率62.7%）から回答を得た。

政治家が発信する SNS の情報の方を信頼するのは中国、他の5カ国はメディアの報道する情報の方を信頼するも国によってばらつき

- 政治家が個人的に発信する SNS の情報とテレビや新聞などが報道する情報のどちらを信頼するか尋ねたところ、中国では「政治家が個人的に発信する SNS の情報の方を信頼する」が 46.9%で、「テレビや新聞などが報道する情報の方を信頼する」の 38.3%を上回った。一方、他の5カ国では、「テレビや新聞などが報道する情報の方を信頼する」と答えた人の割合が「政治家が個人的に発信する SNS の情報の方を信頼する」を上回った。「テレビや新聞などが報道する情報の方を信頼する」の割合はアメリカが 71.6%で最も多く、イギリス・フランス・韓国・タイは 50%台。
- 前回調査と比較すると、「政治家が個人的に発信する SNS の情報の方を信頼する」はアジア3カ国で減少し、「テレビや新聞などが報道する情報の方を信頼する」は、中国を除く5カ国で減少した。

図表 14 政治家が発信する SNS の情報とメディアの報道どちらを信頼するか（問 17）

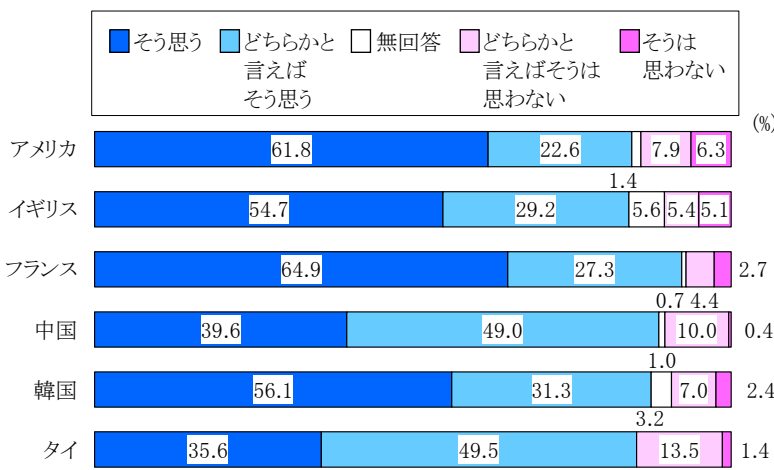


「報道の自由は常に保障されるべきだ」に各国 80%以上の支持があるも、「報道でプライバシーが侵害されている」にも 50%以上が賛同

- ・「報道の自由は常に保障されるべきだ」については、「そう思う」がフランスで90%を超え、他の5カ国で80%台。
- ・「国益を損なうという理由で政府がメディアに圧力をかけるのは当然だと思うか」については、「そう思う」がタイで82.2%、イギリスで71.8%、中国で65.0%、韓国・アメリカで60%近く。フランスで50%を下回った。

図表 15 報道の自由について (問 15)

(1) 報道の自由は常に保障されるべきだ



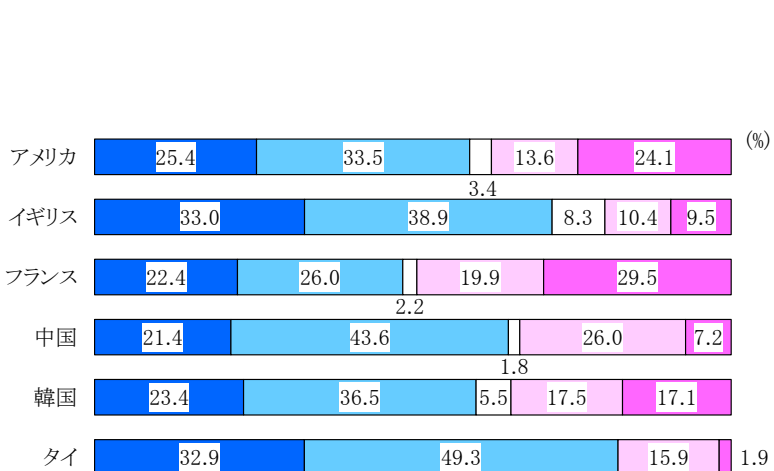
そう思う (計)				そうは思わない (計)			
今回	第4回	第3回	第2回	今回	第4回	第3回	第2回
84.4	89.1	90.4	91.1	14.2	10.2	8.4	7.6
83.9	84.3	79.9	84.0	10.5	11.3	11.0	12.9
92.2	93.4	92.8	93.1	7.1	6.2	6.0	5.3
88.6	81.1	85.4	86.5	10.4	18.0	13.2	12.8
87.4	91.7	90.5	90.5	9.4	6.6	8.6	7.4
85.1	90.2	88.2	84.7	14.9	9.8	11.8	15.3

【参考:第11回メディアに関する全国世論調査(2018年)より】



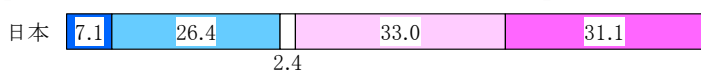
82.3	83.2	82.6	83.2	16.2	15.2	15.4	14.0
------	------	------	------	------	------	------	------

(2) 国益を損なうという理由で政府がメディアに圧力をかけるのは当然だと思う



そう思う (計)				そうは思わない (計)			
今回	第4回	第3回	第2回	今回	第4回	第3回	第2回
58.9	60.1	63.3	69.4	37.7	36.2	33.8	28.1
71.8	75.5	70.3	72.3	19.9	15.9	17.0	24.2
48.4	48.4	47.3	56.5	49.4	49.5	49.6	39.3
65.0	73.7	72.9	79.7	33.2	24.4	24.5	19.8
59.9	53.5	47.9	58.1	34.6	41.5	49.8	37.1
82.2	82.6	74.9	80.5	17.8	17.4	25.0	19.5

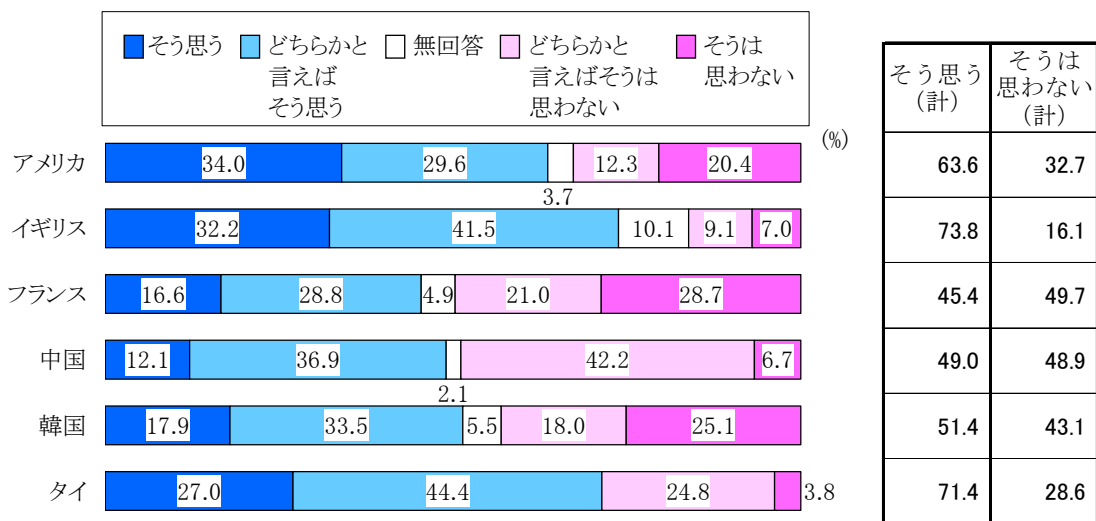
【参考:第11回メディアに関する全国世論調査(2018年)より】



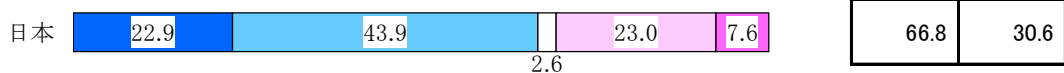
33.6	30.5	32.6	27.6	64.1	66.8	64.2	67.8
------	------	------	------	------	------	------	------

- ・「報道の自由が侵害されていることがあると思うか」については、「そう思う」がイギリス・タイで70%台、アメリカ・韓国で50%を超えた。フランス・中国で50%を下回った。
- ・「報道によって、プライバシーが侵害されていると思うか」については、「そう思う」がイギリス・フランス・タイで70%を超えた。アメリカは60%台、中国・韓国は50%台。

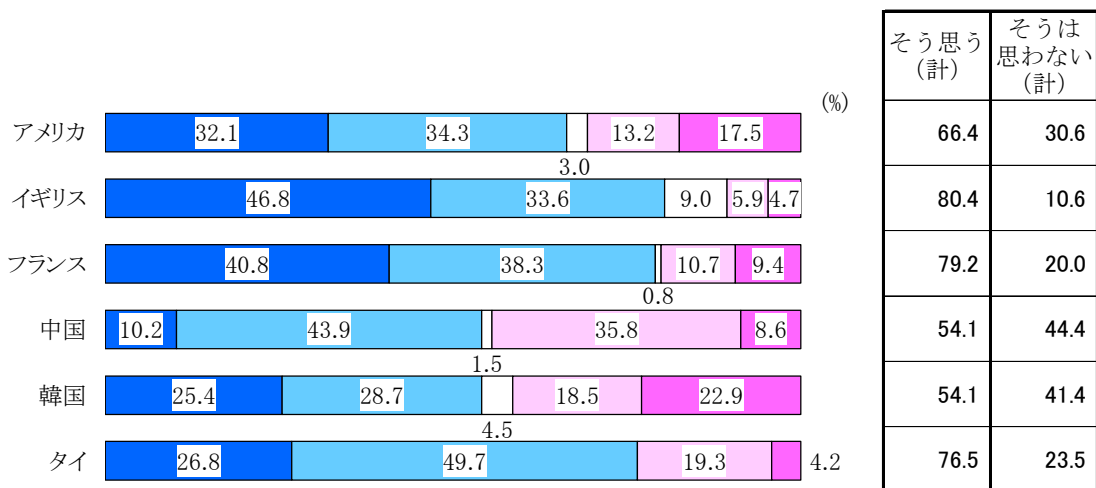
(3) 報道の自由が侵害されていることがあると思う



【参考:第11回メディアに関する全国世論調査(2018年)より】



(4) 報道によって、プライバシーが侵害されていると思う



【参考:第11回メディアに関する全国世論調査(2018年)より】

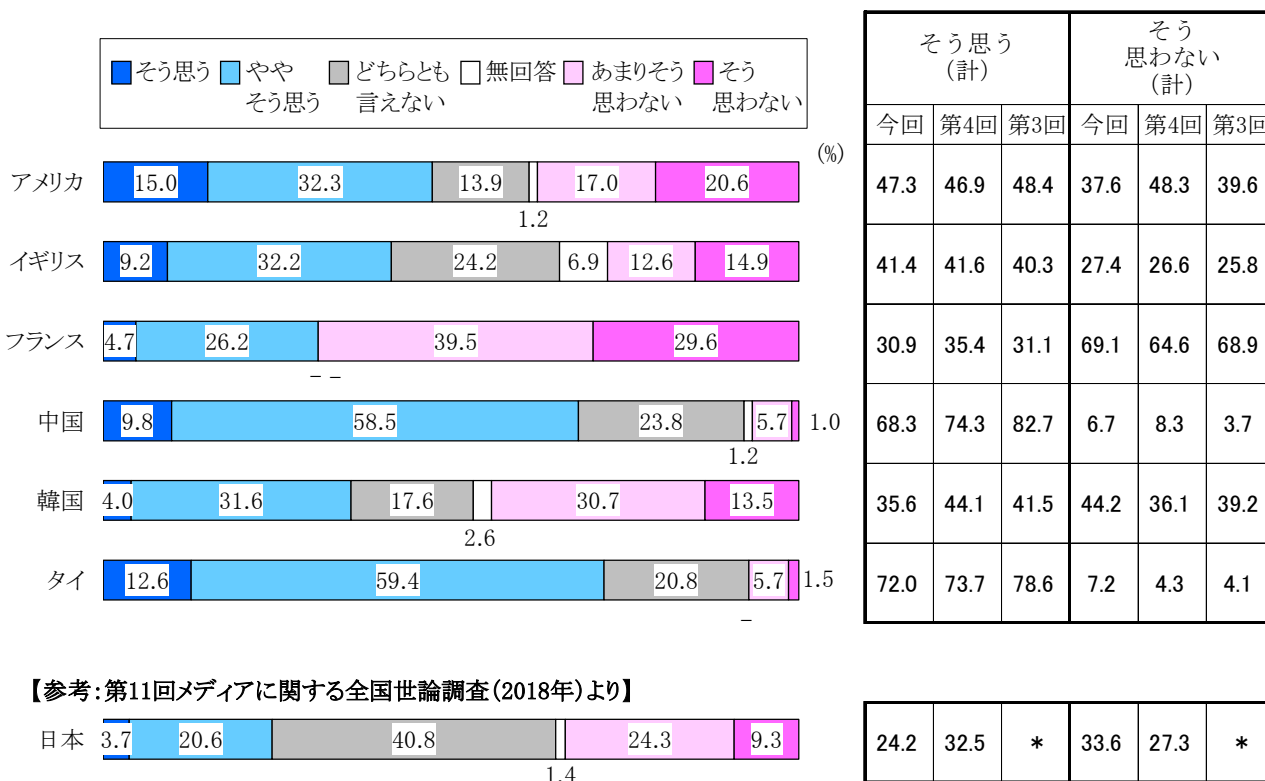


注:「第11回メディアに関する全国世論調査(2018年)」は2018年8月に全国18歳以上の5,000人を対象に訪問留置法で行い3,135人(有効回収率62.7%)から回答を得た。

「世論調査は、人々の意見を正しく反映している」と思うのは、中国・タイで 70%前後、アメリカ・イギリス・フランス・韓国は 50%を下回る

- ・テレビ・新聞などのマスメディアで報道される世論調査の結果は、人々の意見を正しく反映していると思うか、尋ねたところ、「そう思う」が中国・タイで 70%前後であったが、アメリカ・イギリス・フランス・韓国で 50%を下回った。昨年 8 月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「そう思う」が 24.2%であった。
- ・フランスでは世論調査が人々の意見を正しく反映していると思わない人が約 70%。

図表 16 世論調査について（問 16）

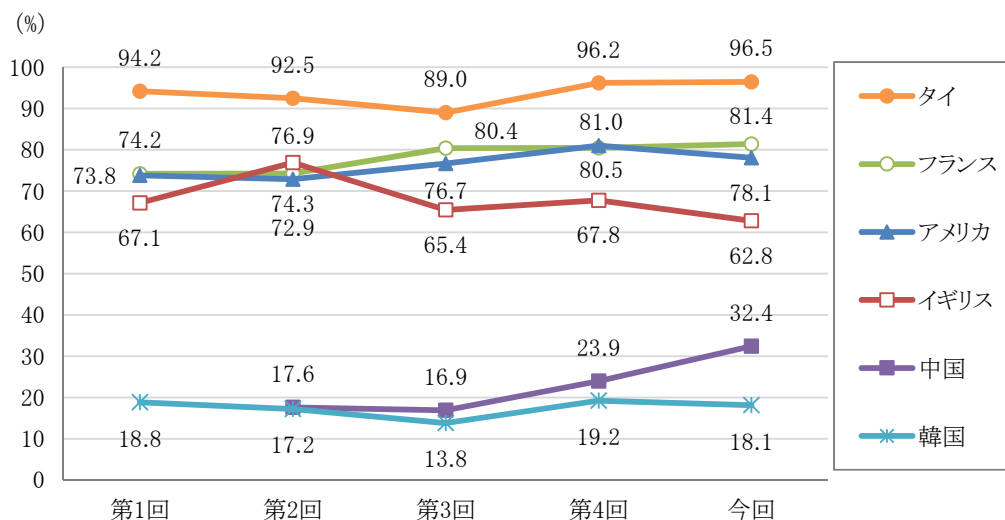


注：「第 11 回メディアに関する全国世論調査（2018 年）」は 2018 年 8 月に全国 18 歳以上の 5,000 人を対象に訪問留置法で行い、3,135 人（有効回収率 62.7%）から回答を得た。

日本に対する信頼度は中国で上昇続く

- 日本について「信頼できる」はタイで96.5%、フランスで81.4%、アメリカで78.1%。イギリスは62.8%。昨年度からの変化では、イギリスが5.0ポイント、アメリカが2.9ポイント減少した。
- 中国は32.4%、韓国は18.1%と低いですが、時系列変化を見ると、中国は第4回、今回と信頼度が上昇し、信頼度は第3回から倍増した。韓国は横ばいであった。

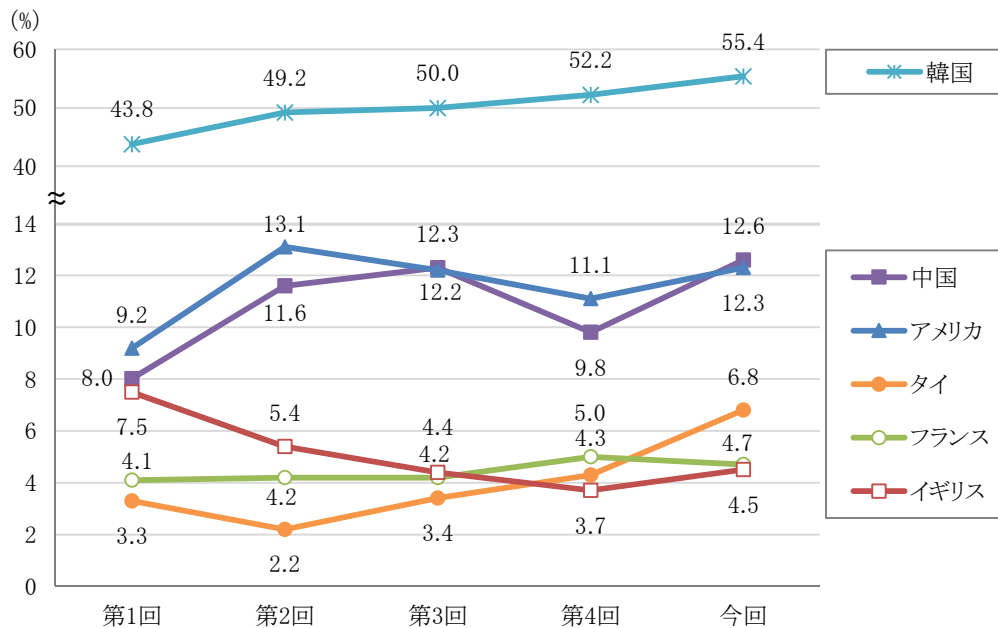
図表 17 日本の信頼度（問3） — 「とても信頼できる」「やや信頼できる」と答えた人の合計割合



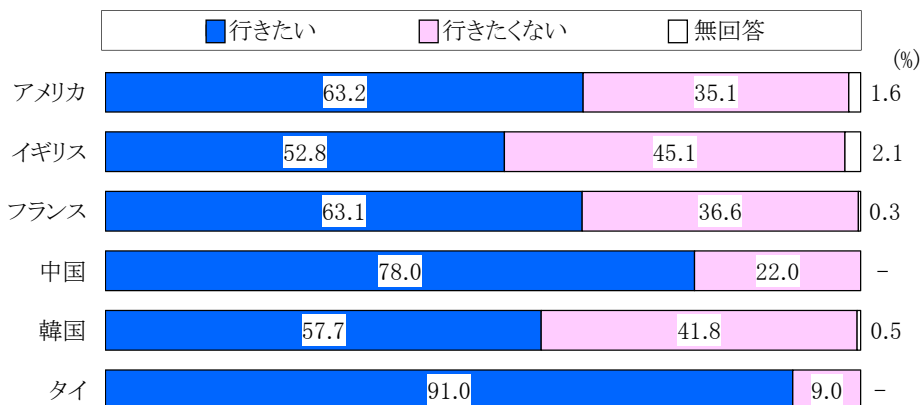
訪日経験があるのは韓国で 55%、アメリカ・中国は 10%強

- ・ 訪日経験があるのは韓国で 55.4%。アメリカ・中国は 10%強。イギリス・フランス・タイは 5%前後。
- ・ 時系列変化を見ると、韓国・タイは上昇傾向が続いた。前回より中国は 2.8 ポイントの上昇となった。
- ・ 訪日意向は、タイが最も高く 91.0%、次いで中国が 78.0%であった。他の 4 カ国は 50~60%台。
- ・ 訪日して行ってみたいところ、体験してみたいことを自由回答で聞いたところ、アメリカは「東京」、イギリス・フランスは「観光」、中国・タイは「富士山」、韓国は「温泉」がトップとなった。

図表 18 訪日経験（問 5） — 「行ったことがある」と答えた人の割合



図表 19 訪日意向（問 6）



図表 20 訪日して行ってみたいところ、体験してみたいこと（各国上位 5 位）（問 7）

※各欄右端の数字はその項目を挙げた人の数

アメリカ	632	イギリス	561	フランス	818	中国	964	韓国	726	タイ	995
東京	90	観光	127	観光	118	富士山	131	温泉	144	富士山	196
食	81	食	70	文化・伝統	113	東京	129	観光	100	東京	132
文化的体験	56	文化・伝統	50	歴史探訪	92	桜	112	大阪	61	桜	122
自然関連	55	東京	43	東京	90	食	96	東京	55	北海道	74
観光	53	富士山	35	食	54	観光	76	北海道	52	食	51

中国への好感度は5カ国で軒並み低下 日本への好感度は中国で上昇、韓国で低下 イギリス・フランスは他国への好感度がほとんど低下

- 中国に対する好感度は、前回調査より軒並み低下し、中でもイギリスが10.2ポイント、フランスが9.8ポイント、韓国が7.9ポイントと大きく低下した。
- イギリス・フランスでの、他国への好感度は、ほとんど低下となった。イギリス・フランスは依然相互に好感度が高い。
- 日本に対する好感度はタイ96.5%、アメリカ85.7%、フランス79.1%、イギリス62.0%。アメリカは2.1ポイントの上昇となったが、イギリス・フランス・タイは低下。中国・韓国は前回調査で好感度が上昇に転じたが、今回は中国は引き続き6.0ポイント上昇の33.9%、韓国は6.3ポイント低下の32.0%。
- アメリカは依然日本、イギリス、フランスへの好感度が高いが、韓国への好感度が6.6ポイント上昇し51.5%。
- 中国はフランス・イギリス・タイ・アメリカの順に、韓国はイギリス・アメリカ・フランス・タイの順に、タイは日本・イギリス・アメリカ・フランス・韓国・中国の順に50%以上の好感度。

図表 21 各国間の好感度（問2）－「好感が持てる」と答えた人の割合

		1位	2位	3位				
		(%)						
		対 象 国						
		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ
【今回】	米	85.7	*	84.1	77.4	54.4	51.5	68.9
	英	62.0	61.7	*	68.1	45.5	34.4	55.3
	仏	79.1	56.1	74.7	*	43.8	56.4	65.3
	中国	33.9	59.5	82.3	86.7	*	36.8	67.2
	韓国	32.0	72.3	72.6	72.1	28.6	*	56.2
	タイ	96.5	84.8	89.5	84.5	51.6	69.7	*
【第4回】	米	83.6	*	84.9	76.0	55.6	44.9	64.7
	英	66.6	62.9	*	70.1	55.7	33.6	55.6
	仏	81.1	58.8	78.0	*	53.6	59.2	70.3
	中国	27.9	55.9	76.8	84.7	*	35.7	62.3
	韓国	38.3	73.3	73.0	72.9	36.5	*	56.5
	タイ	98.3	75.7	88.6	83.7	52.7	75.5	*
【第3回】	米	84.5	*	87.2	74.8	50.0	42.2	63.5
	英	68.7	59.9	*	71.1	52.0	28.2	54.9
	仏	81.2	53.5	71.2	*	45.3	54.7	64.0
	中国	23.4	58.6	76.5	82.4	*	39.0	56.9
	韓国	30.0	74.2	72.2	69.9	45.0	*	46.9
	タイ	91.6	82.2	85.2	80.2	54.9	66.9	*
		5ポイント以上の上昇 5ポイント以上の低下						
		対 象 国						
		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ
【今回-第4回】	米	2.1	*	-0.8	1.4	-1.2	6.6	4.2
	英	-4.6	-1.2	*	-2.0	-10.2	0.8	-0.3
	仏	-2.0	-2.7	-3.3	*	-9.8	-2.8	-5.0
	中国	6.0	3.6	5.5	2.0	*	1.1	4.9
	韓国	-6.3	-1.0	-0.4	-0.8	-7.9	*	-0.3
	タイ	-1.8	9.1	0.9	0.8	-1.1	-5.8	*
【第4回-第3回】	米	-0.9	*	-2.3	1.2	5.6	2.7	1.2
	英	-2.1	3.0	*	-1.0	3.7	5.4	0.7
	仏	-0.1	5.3	6.8	*	8.3	4.5	6.3
	中国	4.5	-2.7	0.3	2.3	*	-3.3	5.4
	韓国	8.3	-0.9	0.8	3.0	-8.5	*	9.6
	タイ	6.7	-6.5	3.4	3.5	-2.2	8.6	*
【第3回-第2回】	米	5.9	*	1.5	-6.2	7.9	2.7	5.8
	英	-1.0	-19.5	*	-9.1	2.4	-2.3	-7.6
	仏	8.0	-22.5	-8.6	*	0.8	4.9	4.3
	中国	-4.4	1.1	-6.1	0.1	*	-35.8	-5.0
	韓国	-2.3	-5.6	0.9	-0.2	-10.6	*	-1.4
	タイ	0.8	2.8	-0.4	4.0	3.4	0.1	*

知っている日本人、中国・韓国は「安倍晋三」、イギリス・フランスは「昭和天皇」、タイは「天皇」アメリカは「オノ・ヨーコ」が1位

- ・ 知っている日本人の名前を1人挙げてもらったところ、中国・韓国は「安倍晋三」が1位。イギリス・フランスは「昭和天皇」が1位。タイは「天皇」が1位。アメリカは「オノ・ヨーコ」が1位。
- ・ 2位には「安倍晋三」（アメリカ・タイ）、「オノ・ヨーコ」（イギリス）、「ドラゴンボール／孫悟空」（フランス）、「福原愛」（中国）、「伊藤博文」（韓国）と分散。

図表 22 知っている日本人（各国上位 10 位）（問 1） ※各欄右端の数字はその人名を挙げた人の数

アメリカ (回答者359人)	イギリス (回答者218人)	フランス (回答者538人)
オノ・ヨーコ 38	昭和天皇 50	昭和天皇 95
安倍晋三 36	オノ・ヨーコ 28	ドラゴンボール／孫悟空 44
昭和天皇 33	安倍晋三 13	ナルト(漫画「ナルト」) 40
イチロー 19	カズオ・イングロ 6	安倍晋三 16
明仁(今上)天皇 15	村上春樹 4	ピカチュウ／ポケモン 16
ジョージ・タケイ (日系アメリカ人2世の俳優) 10	尾田栄一郎 (漫画「ワンピース」の作者) 2	宮崎駿 15
メイジー・ヒロノ (日系アメリカ人の上院議員) 7	香川真司 2	オノ・ヨーコ 10
三宅一生 6	ジョージ・タケイ (日系アメリカ人2世の俳優) 2	UFOロボ グレンダイザー 9
黒澤明 6	宮本茂 (ゲームプロデューサー) 2	黒澤明 9
山本五十六 6	隈研吾 2	ルフィ(漫画「ワンピース」) 8

中国 (回答者1,000人)	韓国 (回答者600人)	タイ (回答者860人)
安倍晋三 223	安倍晋三 282	天皇 113
福原愛 115	伊藤博文 108	安倍晋三 102
宮崎駿 84	豊臣秀吉 48	首相 71
山口百恵 67	浅田真央 11	深田恭子 55
木村拓哉 49	小泉純一郎 11	明仁(今上)天皇 52
村上春樹 42	徳川家康 8	X Japan 22
小泉純一郎 32	中曾根康弘 7	AKB48 21
高倉健 25	村上春樹 7	蒼井そら 17
酒井法子 20	柴咲コウ 4	愛子内親王 16
東野圭吾 19	昭和天皇 4	Miyabi 9
		宇多田ヒカル 9
		宇野昌磨 9
		香川真司 9